

水沢分科会

質問 不納欠損額が多いが、どういうものか、また不納欠損とする判断はどのようにしているのか。

答弁 市税で約四千万円。滞納している四千人ほどの対象者を調査し、行方不明とか資産がない等の場合、不納欠損としている。

質問 市営住宅使用料の滞納額が多い人はどの程度いるのか。

答弁 三か月以上の人は十七年度で三十七人いる。このうち行方が分からない人が五人ほどいる。

質問 予算に対する付帯意見にある花卉育苗センターの運営状況はどうなっているのか。

答弁 補助金を出すなどして援助しているが、補助に見合う分の収入がなかなか農家では見込めない。今後、農業公社を通じて販路を拡大していきたい。

質問 消費者金融利用者救済の預託金について、この制度の利用者はどのくらいあるのか。

答弁 十七年度は一月までで新規十人で二千万円の利用、トータルで百二十六人、二億一千万円ほどとなっている。

質問 生活保護世帯への対応について、月に何回訪問しているのか。

答弁 ケースによって異なるが、月一回から三か月に一回までである。高齢者世帯については、週一回とか毎日の場合もある。

質問 水道管の敷設工事後に、通行車両の重量に耐えず、配管が破損した場合は工事施工者に責任はあるのか。

答弁 二年以内の分は請負業者に補償してもらうことになる。

一般会計決算に対する付帯意見
▼税の公平性の堅持の上からも市税の収入未済額の解消に一層努力されたい。

江刺分科会

質問 退職手当負担金が高額になっていると、奥州市議会でも取り上げられた経緯があるが、実態はどうなっているのですか。

答弁 負担している点だけを捉えれば不満な事も理解できるが、十年以上の時間をかけて、百二十人の職員削減に努めた。この経過をたどれば、昭和五十四年に県の財務視察があり、財政状況の厳しさを指摘された。又、議会からも同様の指摘をされ、職員団体と市当局と一体となった行財政改革に取り組み、一般職に限らず、現業部門も人員削減を進めた。その結

果、一人年間一千万円の支給額で百人の減員で十億もの人件費を削減する事に繋がった。ですから退職手当負担金が多くなるのは、当然と考えます。

質問 税金やそれ以外の滞納整理について。また、本庁と総合支所の体制や連携についての問題点はないですか。

答弁 本庁の総務部税務課内に滞納整理対策室があり、本庁と連携して滞納整理にあたっている。ただ、データを持っている本庁で課税し、実務は総合支所であたるという状況があり、職員体制が整っておらず今後の課題です。

質問 携帯電話への災害メールについて、字名だけの通信では消防団員が場所の特定に苦慮をしているが、どのように考えていますか。

答弁 個人情報保護条例の関係で字名だけの送信になった。ただ市民や団員が困惑しているという事実であるから、今後協議しながら調査検討をします。

前沢分科会

質問 地方債発行は、新市に関わるものが計上されているか伺います。また、国際交流文化事業基金や温泉の基本積立など、一般財

源化されているが残すべきものがなかったか伺います。

答弁 起債は十七年度予算に関わるものだけです。基金については、それだけで事業ができる状況になく、総合的判断によるものです。

質問 幼保一体施設の現況と、温泉会計について特別会計扱いできないか伺います。

答弁 幼保について現在足踏み状態です。財源不足から別途方法について検討中であります。温泉会計については、民営化も含めて検討していく事業とっております。

質問 世界遺産の登録に伴い観光客が増える予想されている現状で対策はどの様にされるか伺います。

答弁 奥州市全体で検討している。また、これから住民の皆様含めた中で協議して行く予定になっております。

質問 介護施設の建設計画の見通しと待機者解消の方策を伺います。

答弁 小規模多機能型施設は前沢消防分署を予定しています。待機者については、奥州市全体の中で検討する予定となっております。
質問 現在の組織機構で改善すべき点があれば伺います。